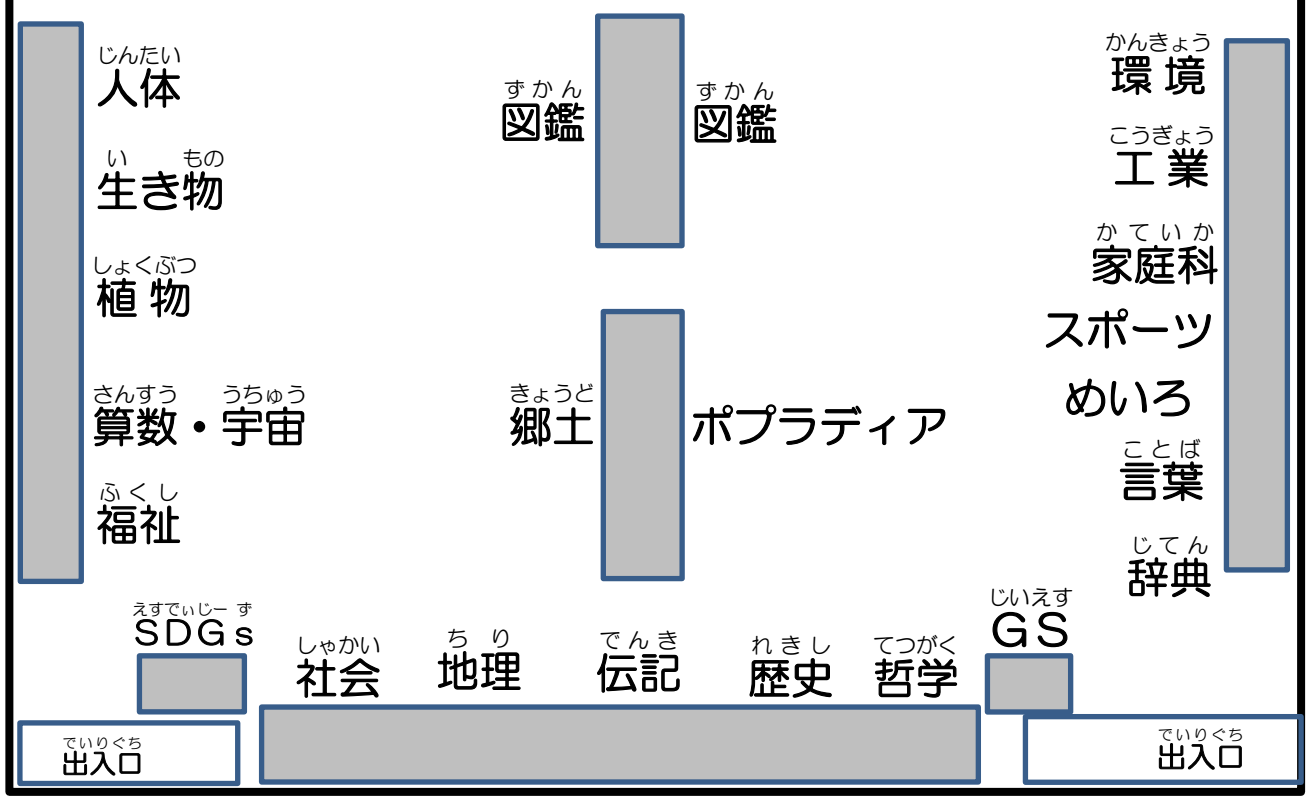


# と しょ 図書だより



家庭数

## ちしきの森



こうちょうしつ  
校長室



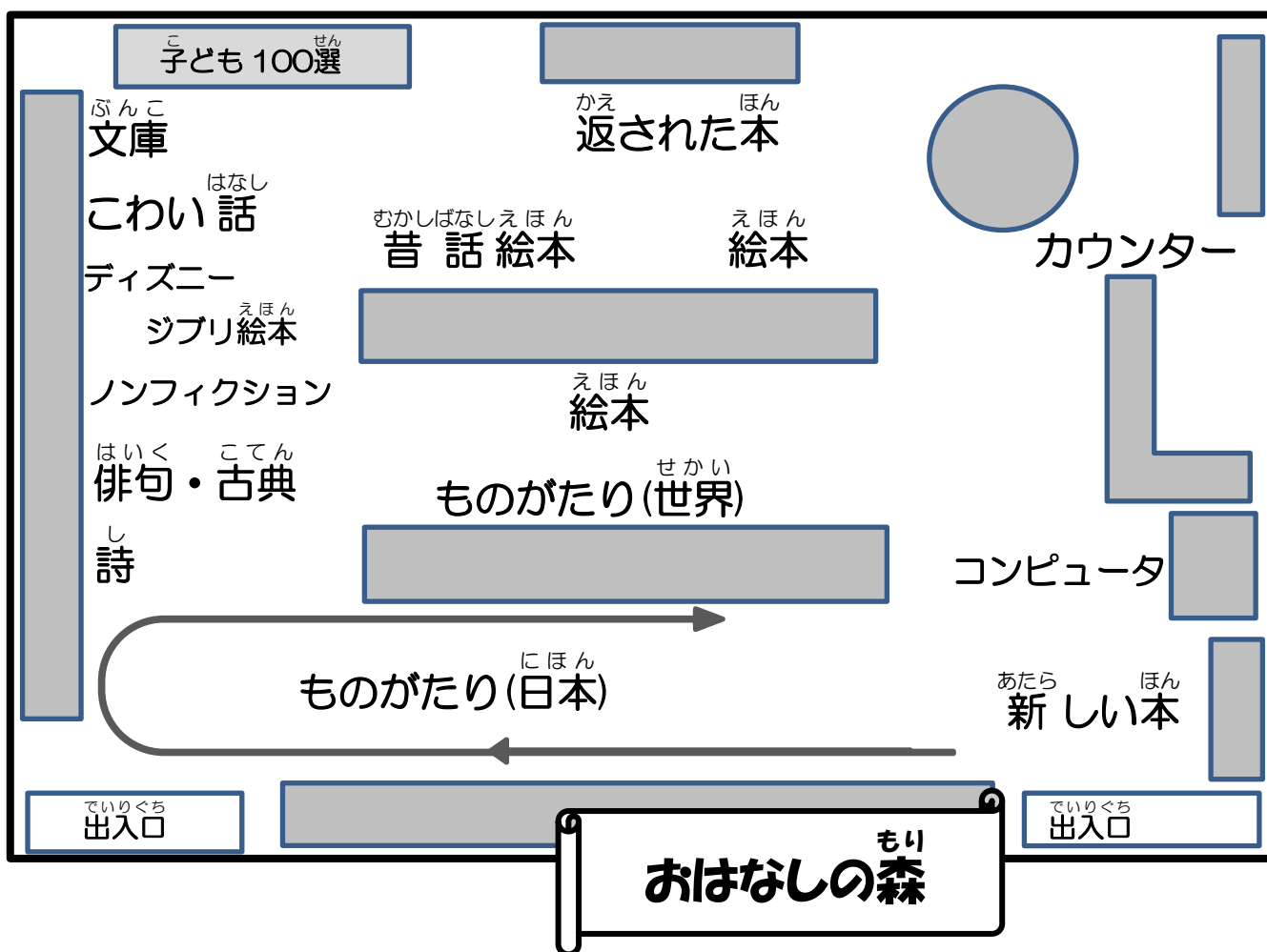
仮の本の森では、机にダンボールを並べて使っていましたが、怪我なく、ダンボールがつぶれることもなく、きれいなままでした！みなさんが丁寧に使ってくれたおかげです。改めて大戸小の素晴らしさを実感しました。3学期からも、同じように楽しく丁寧に過ごしてもらえたらうれしいです！



おまたせしました！

『本の森』が北校舎の1階にもどりました！

きれいな本の森を見に来てください～♪



今年度の2度にわたる本の森の移動では『大戸小 おたすけ隊』のみなさまに、たくさんのご協力をいただきました。  
ほんとうにありがとうございました。

# 2022年 賞をうけた本

本の森には2022年に賞をうけた本がたくさんあります  
ぜひ手に取ってみてください！

「海のアトリエ」(偕成社)

作/堀川理万子

おばあちゃんの部屋には、女の子の絵がかざってある。「この子はだれ？」と聞いたら「この子は、あたしよ」って教えてくれた。おばあちゃんが子どもの時、絵描さんと過ごした夏の日の思い出を映画のシーンのようにキラキラと描いた絵本です。

☆ Bunkamura ドゥマゴ文学賞

☆ 講談社絵本賞

☆ 小学館児童出版文化賞

「大ピンチずかん」(小学館)

作/鈴木のりたけ

牛乳がこぼれた！ テープの端が見つからない！

トイレの紙がない！

毎日の中で襲い来る、さまざまなピンチを「なり

やすさ」と「大ピンチレベル」で解説！

☆ MOE 絵本屋さん大賞

☆ リフレ絵本大賞

☆ 未来屋えほん大賞

「たまごのはなし」(ブロンズ新社<sup>しんしゃ</sup>)

作/しおたにまみこ<sup>さく</sup>

ある日とつぜん目をさました たまご。はじめて

歩き、はじめて話しをします。マシュマロを

起こして いっしょにキッチンの台をおり、

探検にも出かけます。

読めば読むほど不思議なお話を3話収録。

☆ フラチスバラ世界絵本原画展 金牌<sup>せかいえほんげんがてん きんぱい</sup>

☆ 日本絵本賞 大賞<sup>にっぽんえほんしょう たいしょう</sup>

「夜をあるく」(BL出版<sup>しゅっぱん</sup>)

作/マリー・ドルレアン 訳/よしいかずみ<sup>さく やく</sup>

真夜中、お母さんに起こされた姉弟。

「やくそく、おぼえてる？」と言われ、だまって

着替えをして、家族4人で夜の中へと出かけて

いきます。町をぬけて、真っ暗な山道へ。

最後に家族を待っているものは、なんでしょう？

☆ 日本絵本賞 翻訳絵本賞<sup>にっぽんえほんしょう ほんやくえほんしょう</sup>

そのほかにも…みなさんにおなじみの

「かみはこんなに くちゃくちゃだけど」

(作/ヨシタケシンスケ・白泉社<sup>はくせんしゃ</sup>)が

☆TUTAYA えほん大賞<sup>たいしょう</sup>

「ふしぎ駄菓子屋銭天堂<sup>だ が し や ぜ に て ん どう</sup>」

(作/廣嶋玲子・偕成社<sup>かいせいしゃ</sup>)が

☆子どもの本総選挙 第1位を受賞しています。